

【様式】

政 務 活 動 一 覧

議員名： 興治 英夫

旅行期間	活動日時	活動先			政務活動の内容	関連領収書番号
		住所	活動先の名称	対応部局等		
R7. 6. 30 ~ 7. 1	R7. 6. 30 19:00~ 21:00	大阪市	土佐清水ワールド、 梅田ギャザ 阪急店	鳥取県統轄官、 輝く鳥取創造 本部長、関西本 部	とっとり牛骨ラ ーメンの発信につ いて	7-2
	R7. 7. 1 10:30~ 19:00	大阪市	大阪・関西万博	関西パビリオン 鳥取県ゾーン	鳥取県の展示 状況調査	7-2
	R7. 7. 1 10:30~ 19:00	大阪市	大阪・関西万博 ポップアップステージ 西	砂ソフ リースターティ ングセレモニー	サントアライアンスの 拡大状況調査	7-2
	R7. 7. 1 10:30~ 19:00	大阪市	大阪・関西万博 ORA 外食パビリオン		とっとり牛骨ラ ーメン出店状況調 査	7-2
	R7. 7. 1 10:30~ 19:00	大阪市	大阪・関西万博 ポップアップステージ 北	郷土芸能・ご当 地アイドルステージ	鳥取県の日 活動状況調査	7-2
	R7. 7. 1 10:30~ 19:00	大阪市	大阪・関西万博 EXPO ホールシャインハット		ステージ イベント 「今日は一日 鳥取県～まん が王国とっと りの魅力」調査	7-2
	R7. 8. 28	鳥取市	とりぎん文化会 館会議室	文部科学省初 等中等教育局	不登校対策を 考える会勉強 会参加	8-10
R7. 11. 27 ~28	R7. 11. 27 10:30~ 12:00	東京都 千代田区	厚生労働省	医政局医療経 営支援課医療 法人支援室室 長補佐	地域医療連携 推進法人の制 度と設立への 概要調査	11-6
	R7. 11. 28 10:00~ 11:30	山形県酒田市	地域医療連携推 進法人日本海へ ルスケアネット	代表理事、推進 室長、他	地域医療連携 推進法人の設 立と運営調査	11-6

- ・ 交通費（JR等運賃、タクシー代、駐車場代）、宿泊費、会議等への参加費及び会議の開催経費（会場代、講師謝金等）に政務活動費を充当する場合に記載すること。
- ・ 移動日等も含め政務活動が複数日に渡る場合は、移動日等を含めた「旅行期間」と実際の政務活動を行った「活動日時」を記載すること。なお、旅行期間が1日である場合は、旅行期間欄は空欄とし、活動日時欄の時間は記載不要とする。
- ・ 県外及び国外での政務活動については、別途「活動報告（県外・国外）」を提出すること。

活 動 報 告（~~県外~~・~~国外~~）

議員名： 興治 英夫

活 動 事 項	大阪・関西万博 鳥取県の出展状況、鳥取の日活動状況調査
活 動 年 月 日	令和7年6月30日(月) 移動日、19:00～21:00 議連意見交換、宿泊 令和7年7月1日(火) 10:30～19:00 政務活動
場 所	大阪市、大阪・関西万博会場
活動の相手方	関西パビリオン鳥取県ゾーン、今日は一日鳥取県主催鳥取県、出演者
活 動 の 目 的	大阪・関西万博での鳥取県展示内容、鳥取県主催イベントの実施状況調査
活 動 の 内 容	とっとり牛骨ラーメンの PR・発信状況や、関西パビリオンの鳥取県ゾーンの展示内容を調査した。その後「今日は一日鳥取県」における各ステージでの、砂ンプラリースターティングセレモニー、郷土芸能・ご当地アイドルステージを視察し、出演者と意見交換、激励した。最後に EXPO ホールでのメインイベント「まんが王国ととりの魅力」を視察した。
活動の結果等	・とっとり牛骨ラーメンの出店に多数の人が訪れ、認知度向上に期待が持てた。 ・鳥取県ゾーンには行列ができており、関心の高さが伺えた。展示内容も美しく、工夫が凝らされており良かった。 ・砂ンプラリースターティングセレモニーには 6 カ国・地域が参加し、鳥取県が呼び掛けたサンド・アライアンスの広がりが確認でき、今後の友好交流などにつながることを期待された。 ・郷土芸能の披露には、大勢の来場者があり、鳥取の文化・芸能を知っていただく良い機会になった。 ・水木しげる、谷口ジロー、青山剛昌に関するイベントはたいへん素晴らしく、満員の来場者も満足されたことと思う。まんが王国ととりの認知度向上の良いきっかけになり、来県者や関係人口の増加につながると思った。
関連領収書番号	7-2

活 動 報 告（県外・国外）

議員名： 興治 英夫

活 動 事 項	地域医療連携推進法人に関する視察調査
活 動 年 月 日	令和 7 年 11 月 27 日 10:30～12 時・同 28 日 10 時～11:30 政務活動
場 所	27 日：参議院議員会館 28 日：日本海総合病院（山形県酒田市）
活動の相手方	27 日：厚生労働省医政局医療経営支援課医療法人支援室 田川幸太室長補佐 28 日：（地独）山形県・酒田市病院機構 日本海ヘルスケアネット 島貫隆夫代表理事、同ネット推進室 田中愛久室長 他 2 名
活 動 の 目 的	地域医療連携推進法人の制度概要と設立のポイント、設立と運営の の実際について内容聴取、意見交換を行い、その結果を鳥取県中部地 区での医療連携推進につなげる。
活 動 の 内 容	厚生労働省田川室長より、地域医療連携推進法人の制度概要と設立 に向けた各地の取り組みや設立につなげるためのポイントについて、 概要を聴取し、意見交換を行った。 設立のポイントとしては、キーパーソンとなる医師のリーダーシッ プとこの人のためならやろうという周りの人の協力が不可欠で、個 別医療機関にとってのメリットも必要。行政主導で立ち上げてうまく 言った事例はない。連携法人はあくまでも共存共栄の仕組みであり、 病院の数を減らすための仕組みではないことを踏まえなければならない。 また、最初から共同購入や給食業務の共同化などに取り組 むことは、ハードルが高いことなどについて学んだ。 日本海ヘルスケアネットにおいては、山形県・酒田市病院機構がキー パーソンの役割を果たし、病院単体で経営を考える時代は終わり、地 域で医業や率化できる仕組みや、医師・看護師不足への対応が必要な ど、各病院の院長の会で危機感を共有していたので進んだこと。途中 から医師会、歯科医師会、薬剤師会の参加を得、行政にもオブザーバ ー参加してもらって、地域全体の意思疎通や理解を得やすかったこ と。連携事業としては、医師の相互派遣、手術と透析が重複していた 病院の機能分化と集約、訪問看護ステーションの統合、参加法人全体 の財務諸表の見える化を図り課題共有とさらなる連携を図っている ことなどを学んだ。
活動の結果等	本県中部地区には、県立厚生病院を中核に 10 の病院があるが、連携 や機能分担が適切にできているとは必ずしも思えない。また事業の 継承に不安を抱えているのではないかと思える病院もある。地域医 療連携法人の設立は一つの解決策だと思うが、まだその機は熟して いない。 併せて老朽化している厚生病院の建て替えという重要な課題もあ り、それらを一連の課題として、次期地域医療構想の策定作業の中 で方向付けする必要があると感じている。今回の視察調査の結果を、今後の議 連の活動や議会質問等に生かしていく所存。
関連領収書番号	1 1 - 6